

第282回1月定例教育委員会議事録

- 委員会次第
1. 開会宣言
 2. 教育長あいさつ
 3. 会議録の承認
 4. 審議事項
 5. 報告事項
 6. その他
 7. 閉会宣言

開会日時 令和7年1月29日（水）午後1時

会場 安来市給食センター 2階 調理研修室

出席委員の氏名	教 育 長	秦 誠 司
	委 員	平 野 千 恵
	委 員	青 砥 洋
	委 員	原 智
	委 員	寺 田 禎

出席者の氏名	教 育 部 長	原 み ゆ き	全議題
	教 育 次 長	遠 藤 浩 司	全議題
	学校教育課長	椿 英 隆	全議題
	給食教育課長	内 藤 有 里 子	全議題
	文 化 課 長	金 山 尚 志	全議題
	学校教育課主査	糸 賀 真 也	全議題
	文 化 課 主 幹	高 岩 俊 文	全議題
	教育総務課主幹	徳 永 敦 雄	全議題

1. 開会宣言 午後1時 教育長が開会を宣言する。

2. 教育長あいさつ

(教育長)

今年最初の教育委員会でございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。1月3日にアルテピアにおいて、20歳のつどいが開催され、281名の若者たちが出席する中、市長からのお祝いの言葉や安来節の披露など静粛に執り行われました。全国的にはインフルエンザ等の感染症が猛威を振るっている状況ですが、安来市内における1月中のインフルエンザによる学級閉鎖は、2校4学級ございまして、現在進行形のところもあります。0-157感染症などアルコール消毒が効かないと言われておりますが、手洗いうがいなどを徹底して予防に努めていただきたいと思います。

それから、GIGAスクール構想下での校務DXチェックリスト達成状況という資料がありますが、文部科学省が示す項目をどのくらい実践できているかというアンケート調査の結果です。12月最新の調査によると、島根県安来市の小中学校は588.1ポイントで、県内では群を抜いて進んでおり、中国5県におきましても高い水準であります。そして、教育委員会事務局はどのくらい取り組んでいるかという数字ですけれども480点ということで、これも県内では群を抜いて高くなっております。何点が良いのか悪いのかということは、特に申し上げる必要はないと思いますが、一生懸命取り組みを進めていることが、このような結果になっております。文部科学省の取り組み事例ということで、安来二中の取り組みがホームページ上で紹介されておりますが、個人面談や各種会合等に関する保護者さんとの日程調整をWebアンケートフォームを用いて行っているというもので、取り組み前は手紙を配布しての紙媒体でのやりとりであり、調整を図るのにも担任が保護者に電話をかけて行うものでしたが、それをWeb上で行うことで時間や心理的負担を大幅に短縮軽減できたということでございます。取り組みが進んだきっかけとして、「クラウドサービスの活用全般については安来市教育委員会が環境整備をして主導してくれたため学校としても積極的に取り組む事が出来た、小規模な学校でもあり全体として協力的であった」というコメントでございました。こういう調査項目でやった結果として、安来市は取り組みが進んでいることをご理解いただけるのではないかと思います。これで終わりではなく、教職員の働き方改革として活用される事で貢献し、子どもの学習の姿、1人1台端末を活用して子どもたちが努力していく、そういったところを見ていただきたいと思います。

3. 会議録の承認

第281回12月定例教育委員会

(承認)

4. 審議事項

1) 議第17号 安来市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について (学校教育課長) 資料1により説明

今回の改正は、就学援助のオンライン申請を開始するため、申請書様式及び申請、審査に関する条文の改正を行うものでございます。また、あわせて要保護者についての記載を追加するほか、固定資産税の減免措置を受けた場合の対象者を限定するための記載を追加するものです。改正の概要につきましては、大きく3点ございまして、1点目、要保護者について対象者として規則に記載し、就学援助の種類等についての条文を追加しております。これは、制度として新たに対象者を追加するものではなく、現在の取扱いについて改めて規則に明記するものでございます。また、就学援助の種類につきましては、要保護者は学用品費や給食費等、生活保護から支出されるものがございまして、就学援助では生活保護費以外の部分を対象とするものです。規則の改正部分は、新旧対照表第2条第1項第1号、第3条第2項、第5条第3項の追加箇所でございます。2点目は、就学援助の要件であります「固定資産税の減免措置」につきまして、安来市税条例では集会所の土地等、公益のために使用される固定資産も減免対象となっております。この場合の固定資産税減免は、就学援助の目的である「経済的理由による就学困難」のケースに該当しないため、就学援助の要件から除く旨を追加するものです。3点目は就学援助のオンライン申請に対応するための改正でございます。学校の事務負担軽減と利用者の利便性向上のため、就学援助のオンライン申請を開始することにいたしました。これに伴い、これまで申請は学校経由で提出することとしておりましたが、オンラインで申請した場合は教育委員会に直接申請となることから、申請方法や審査に関する条文を改正するものです。また、あわせて申請書の様式をオンライン申請に対応するよう改正しております。規則の改正部分は、新旧対照表第5条第1項、第6条第2項でございます。

(委員)

学級費などは含まれていますか。

(教育部長)

はい。支給項目としては、学用品、通学用品、また新入生に限っては新入学に伴う学用品、校外活動費、学校給食費、クラブ活動費、それと児童生徒会費、PTA会費、修学旅行費、卒業アルバム代となっております。

(委員)

学校での物については何もいらないのですが、入学準備、それから色々な部活動等については支払った費用の領収書を提出し申請をすると後で返ってくるということになっています。

(教育長)

新入生に対しては、3月中（入学前）に現金（定額）支給をし、準備をしていただくというようにしております。

(承認)

2) 議第18号 市議会2月緊急会議提出議案（令和6年度2月補正予算関係）

(教育部長) 資料4により説明

2月3日に、市議会緊急会議が開催されることになっております。そこで補正予算が計上されますけれども、内容は事業内容に記載の通り、令和6年度国の補正予算において増額された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、特に物価高の影響を受ける低所得者や子育て世帯の負担を軽減する生活者支援と、医療機関、社会福祉施設等、農畜産経営の負担軽減のため事業者支援を実施するのに必要な経費を予算計上するものであり、市全体では、1億9020万円が交付されます。今回、教育委員会に関係するところといたしましては、既存事業へ充当分の学校給食応援事業1800万円が交付されます。今回、増額補正をするわけではありませんが、これまで令和6年度の給食費の物価高騰分については、公費で負担するとして、一般財源を充てておりました。その一般財源を、この交付金へ振り替えるという意味で、計上される予定です。

(委員)

1800万円というのはもともとから見込んでいた部分ですか。

(教育部長)

当初予算で、物価高騰分として1000万円、それから12月補正で物価高騰分として920万円を議決していただいておりますので、計算上は1920万が、高騰分ということです、残り120万円は一般分で賄うという今の計画ですが、まだ年度途中でありますし食数も変わりますので、決算を見て充てられるところには交付金を充てていくということです。

(委員)

近年物価高騰が続き対策支援金が出ていると思いますが、経費の何%程度の充当で、昨年、一昨年はどれぐらい割り当てられていたのでしょうか。

(給食教育課長)

昨年度令和5年度につきましては、1000万円でした。一昨年は地方創生臨時交付金が少しありましたが、物価高騰対応は令和5年度からではなかったかと思います。

(教育部長)

予算上は、賄材料費と言って食材費相当分が1億9000万円で、その内の1800万円、概ね1割程度と考えていただけたらと思います。

(承認)

5. 報告事項

1) 報第14号 和鋼博物館及び安来市立図書館の長寿命化計画（個別計画）について

(委員)

エアコンにつきまして、この計画の中では故障する前に更新を検討するというものですか。

(文化課長)

はい。今までは故障してからの対応で一気に費用が掛かっていたものを、予防的に修繕、更新することによって長寿命化計画に沿う考え方です。

(委員)

入館者は観光客も含まれての数字でしょうか。

(文化課長)

はい。入館者の中には観光客、プロテリアル関係の見学者なども含まれております。最近では松江において国際会議が開かれた際に、その流れで博物館に来られるパターンなども多くあります。

(委員)

入館者と、利用者の違いはなんですか？

(文化課長)

利用者は会議室等の部屋を借りた方です、展示物見学だけではなく、部屋の貸し出しも行っております。入館者は手続きをし入館料を支払われた方です。現在「鉄の道文化圏」「日本遺産のゲートウェイ入口」ということで、エントランス部分で情報を得て、そのまま行かれる方も結構いらっしゃいます。今後の課題としては、観光で来られ、入館料は支払わず、そのまま情報を取り終えて行かれた方も数値化しカウントできるように、入口にカウンターをつけたいというふうには思っております。実際、広瀬の歴史資料館は2階を有料としております。下のガイダンス施設は無料スペースになっておりますけれども、昨年カウンターをつけました所、今までの約5倍ぐらいの方が、無料のガイダンスを見られており、必ずしも入館だけではなく、利用される方がかなりあるということがわかりました。和鋼博物館も同様にできるのではないかというふうに思います。

2) 報第15号 高齢者叙勲について

6. その他

1) 安来市小中学校適正配置検討に係る再編地域協議会について

次回定例会

2月4日(火) 15:00から

7. 閉会宣言

教育長が午後2時30分閉会を宣言し、1月定例教育委員会の日程を終了した。